

入学式・新入生歓迎

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を学生会一同、心から歓迎します。本大学では、初めに「看護とは何か」ということから始め、そこから様々な理論や技術などを講義にて学び、さらに実習を通して学んでいきます。



学生会長：奥間政礎

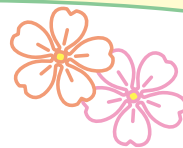
たくさんの科目があり、忙しさはありますが本大学には、スポーツ系や文化系のたくさんのサークル、看大祭や渡嘉敷研修、球技大会などの楽しいイベントがたくさんあります。

また、県内外の看護系大学との交流を行う「学生コンソーシアム」があり、将来、現場に出た時に頼りになるたくさんの仲間づくりができる場となっています。

去った4月に行われた、新入生歓迎球技大会には一学年の2/3以上の生徒が参加をしてくれました。新入生の皆さんが、新しい大学生活のスタートとなったのならば、嬉しい限りです。本大学で学ぶことはたくさんあり、忙しさもあると思いますが、勉強だけではなく、スポーツや看大祭などのイベントなどに積極的に参加していただき、様々な年代の生徒と交流していくことで、充実した学生生活を送ることができると思うので、新入生の皆さんにも積極的に活動してほしいです。一緒に楽しいキャンパスライフを送りましょう。



新入生の声



1年次 破名城静香

私は沖縄県立看護大学に入学することができて、とても嬉しく、自分の夢を叶えることができるこの大学で学ぶことを楽しみに思っていました。そして無事入学式を終え、ウェルカムランチや新入生歓迎球技大会、玉城青少年の家での宿泊研修、渡嘉敷研修などで、入学生や先輩、先生方との交流を通して、たくさんの人達と友達になることができました。これから医療に関わる仕事に就きたいという同じ志を持った仲間と一緒に学び、互いに刺激し合い、協力し合いながら自分の夢を叶えていきます。



別科助産専攻 友寄ゆりか

私は、本学の看護学科を卒業し、別科助産専攻に入学しました。本学の別科助産専攻では、分娩介助だけでなく、ウイメンズヘルスや離島での実習など様々なカリキュラムを通して、多様な学びができることを今から楽しみにしています。助産師としての土台を築く貴重な一年間を大切に、同じ助産師を目指す仲間と切磋琢磨し合いながら、充実した学生生活を過ごしていきたいと思っています。そして、将来的には助産師として、施設だけでなく母子にとってより身近な地域でも活動できる助産師を目指すとともに、沖縄県の母子保健医療に貢献できる人材となれるよう頑張りたいと思います。



博士前期課程 宮國友美

卒業して20年。助産師として経験を積み、現在は看護基礎教育に携わっている。学生の興味・関心をくすぐる教育方法をさぐり、学生の頭・手・心に残る授業を試行錯誤中である。後輩を育成するという教育の楽しさと、どのように関われば伝わるのかというジレンマの中、看護者としての自己を見つめ直す時間も多くなった。「大学院で学びたい」という思いは日々強くなり、念願がなってチャンスは巡ってきた。院生・仕事・母・妻…etcと、いくつものわらじをはき、時には全速力で走らなければならない状況もあるかもしれない。早く送り出してくれた家族・職場に感謝し、実り多き院生生活となるよう自己研鑽に励みたい。

